

# oneSERIES 仕様書

コンピューターに奪われた自由を  
取り戻すための処方箋

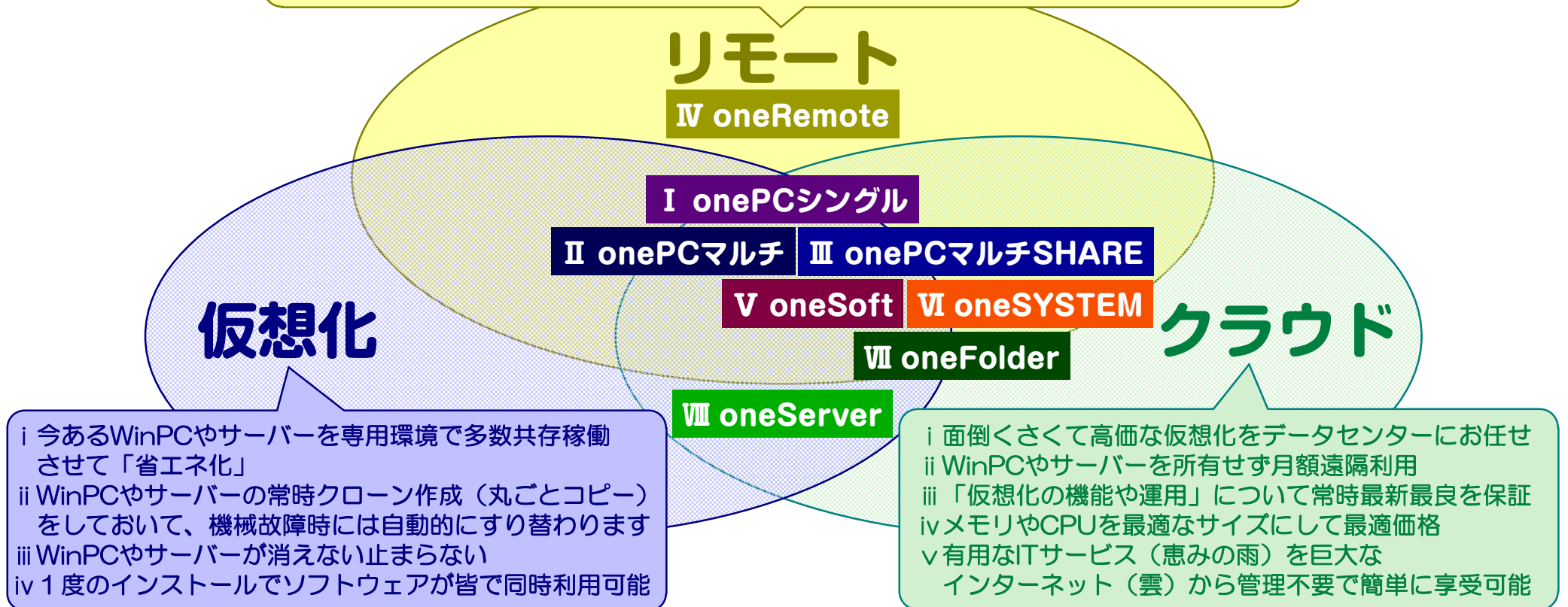
# 本仕様書の内容

◆oneSERIES 3つの要素	.. 1	◆リモートとは？	..17
◆oneSERIES 3タイプ8プラン	.. 2	◆クラウドとは？	..18
		◆仮想化とは？	..19
◆<パソコン>タイプ	.. 3		
I onePCシングル	.. 4	◆仮想マシンとは？	..20
II onePCマルチ	.. 5	◆ハイパーバイザとは？	..21
III onePCマルチSHARE	.. 6	◆オーバーコミットとは？	..22
IV oneRemote	.. 7	◆ホストOS型仮想化ソフトとは？	..23
◆<ソフトウェア>タイプ	.. 8	◆ライブマイグレーションとは？	..24
V oneSoft	.. 9	◆P2Vマイグレーションとは？	..25
VI oneSYSTEM	..10		
		◆RemoteDesktopServicesとは？	..26
◆<サーバー>タイプ	..11		
VII oneFolder	..12	◆リモートアプリとは？	..27
VIII oneServer	..13	◆oneVPNとは？	..28
◆oneSERIESの弱点	..14	★一覧表	..29
◆oneSERIESの神髄	..15	★価格表	..30
◆oneSERIESの実績	..16		

# oneSERIES 3つの要素

- ① 全てお任せの[クラウド]の、財布にやさしく消えない止まらない[仮想化]された WinPCやサーバーを、どこでもどんな端末でも自由安全高速[リモート]操作
- ② 3つの要素でITの困りごとを解決 ③ 社内構築のみ、社内&クラウド併用、どちらも

- i WindowsPCを遠隔操作 手元端末は自由 (iPad/iPhone/Mac/Android/WinPC)
- ii 手元端末には一切データが残らないから、手元端末が ①壊れても②盗まれても 安心
- iii 今あるWinPCと変わらない快適さで遠隔 (会社/DC) のWinPCの画面が動きます



# oneSERIES 3タイプ8プラン

- ①複数のプランを組み合わせ「あなたに最適」なプラン構成を必ず見つけます！
- ②まずは <パソコン> <ソフトウェア> <サーバー> の3タイプにご注目下さい
- ③ステップアップ導入もちろん可能！「気になるあのプラン」から導入スタート

## <パソコン>タイプ・・・「どこでもドア」ならぬ「どこでもWindows」

- I onePCシングル** ●今あるWinPCをそのまま「仮想マシン」に変換すれば検証も設定も不要でスムーズ導入
- II onePCマルチ** ●100人でもWinPCは1台のみでOKだからリーズナブル運用●ソフトインストールは一回のみ
- III onePCマルチSHARE** ●さらにリーズナブルに！「onePCマルチ」マシンを他社と安全に共有するプラン
- IV oneRemote** ●モバイル/在宅 ワークすぐ実現●iOS/Android/Macからでも 自席/他席 のWinPCをリモート

## <ソフトウェア>タイプ・・・結局利用したいのは「あのWindowsソフト」

- V oneSoft** ●iOS/Android/MacでもいつものWindowsLiveメールやいつものWin基幹業務ソフトをリモート
- VI oneSYSTEM** ●クラウド上の当社カスタムメイド基幹業務システムを端末自由でリモート操作

## <サーバー>タイプ・・・「バックアップ」「サーバー機の買い替え」はもう不要

- VII oneFolder** ●データが絶対に消えません●バックアップ不要の手間要らず●使い勝手は今まで通りフォルダ型
- VIII oneServer** ●クラウドならサーバー実機（ファイル/SQL）の購入/設置/管理が一切不要で楽々

## <パソコン>タイプ

- ①「どこでもドア」ならぬ「どこでもWindows」という考え方はいかがでしょうか？
- ②「マイ箸」のような「マイWindows」という考え方もあります
- ③ご都合に応じて I onePCシングル II onePCマルチ III onePCマルチSHARE IV oneRemote



# onePCシングル

- ①今あるWinPCをそのまま「仮想マシン」に変換すれば検証も設定も不要で導入可能
- ②CPUやメモリの量を増やしたり減らしたりがわずか数分でいつでも可能です
- ③新規の「仮想マシン」もOK ③今まで通りの自由な「パーソナル性」を担保

検証  
設定



変換

- i WindowsPC OSインストール
- ii ソフトウェアインストール
- iii 各種初期設定

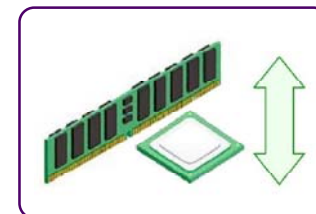
新規



フェイルセーフデータセンター



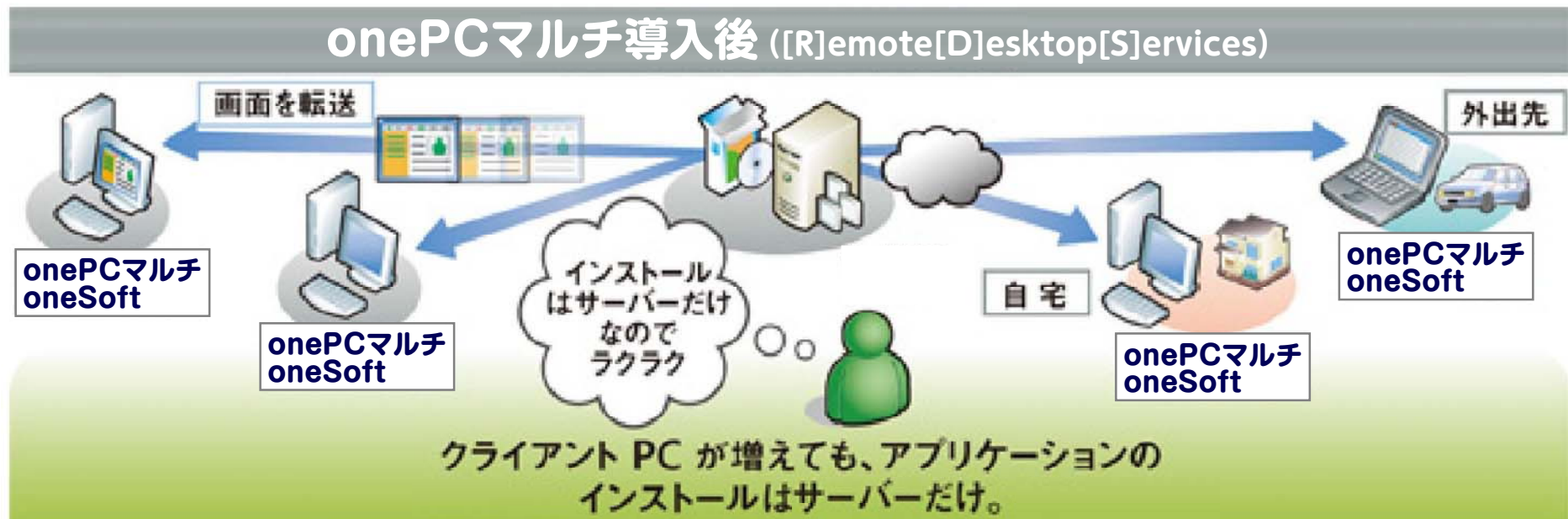
VMware ESXi





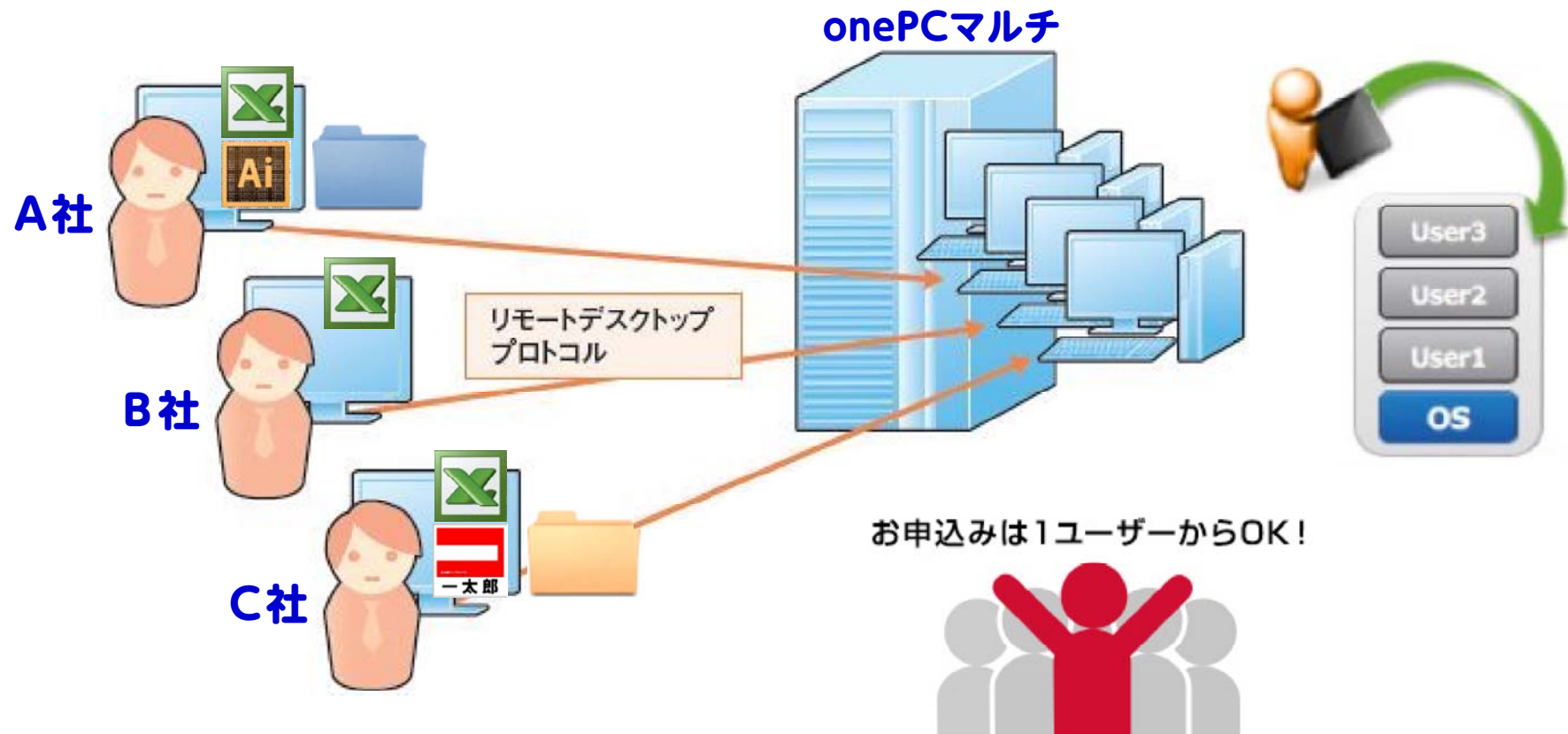
# onePCマルチ

- ①例え「100人」でもWinPCは「1台」のみでOKだからリーズナブルに運用可能
- ②1度インストールするだけで皆がそのソフトウェアを同時に利用できてラクラク
- ③1台のWinPCに皆で同時にログオン ●RemoteDesktopServices という標準機能



# onePCマルチSHARE

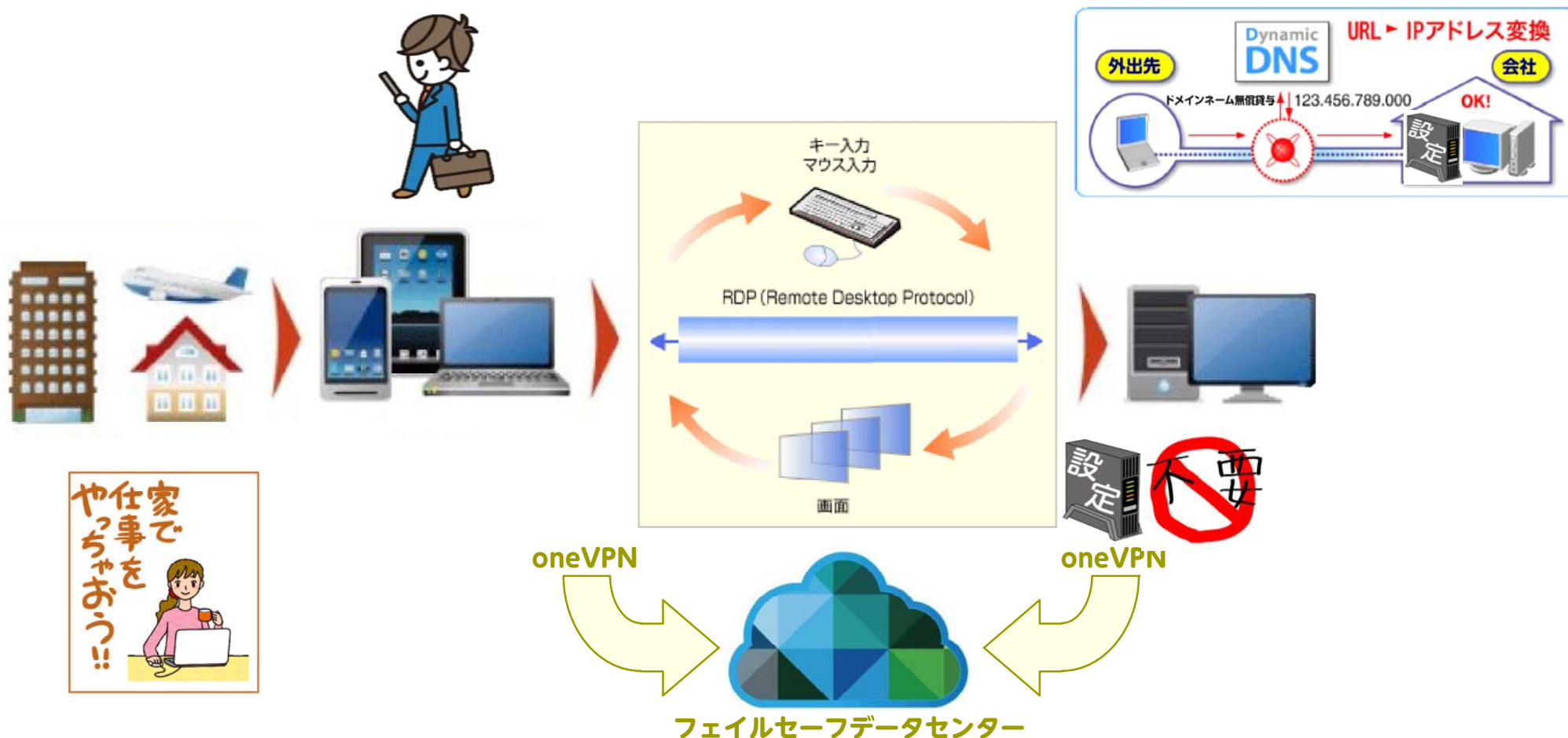
- ①さらにリーズナブルに！「onePCマルチ」マシンを安全に他社と共有するプラン
- ②フォルダやソフトの利用許可を個別に会社ごとやユーザーごとに設定可能
- ③このプラン（クラウド）のみで「oneSERIES」は始まりました（2011年4月）





# oneRemote

- ①自席PC/他席PC のリモート操作で モバイルワーク/在宅ワーク がすぐさま実現
- ②ルーターに穴を空けることなく「oneVPN to PC」で出先から安全接続
- ③iOS/Android からササっと 自席PC/他席PC を出先でリモート操作 Macでも



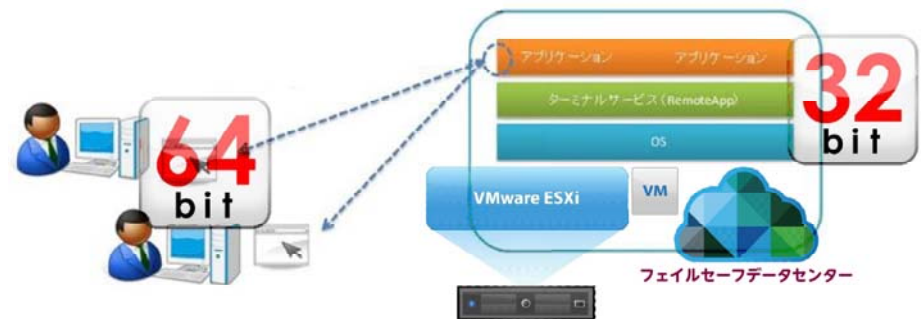
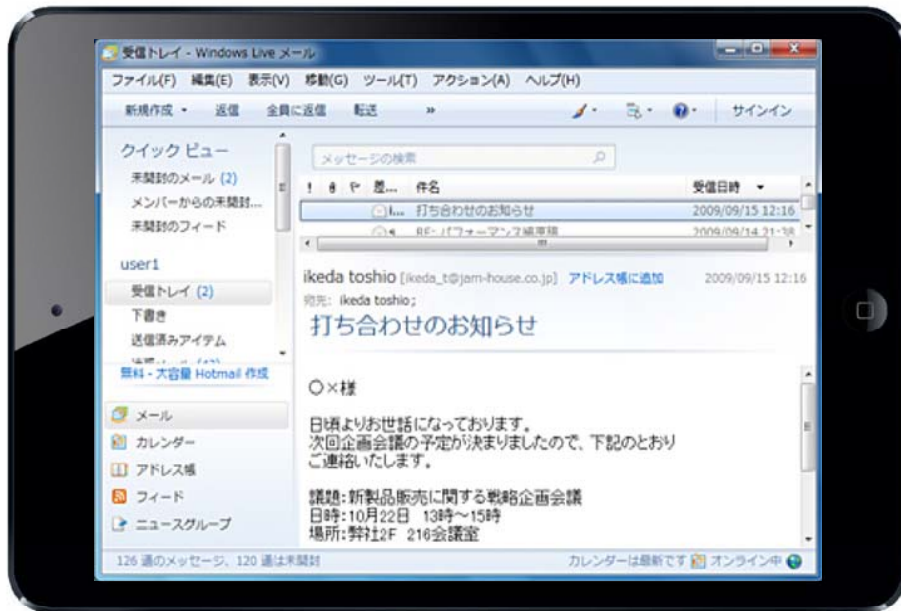
## <ソフトウェア>タイプ

- ①結局利用したいのは「あのWindowsソフト」
- ②手元「端末」「OS」の垣根を排除
- ③iOS/Androidならわずか2タップで「あのWindowsソフト」が素早く起動
- ④インストール作業が面倒な基幹業務ソフト等に最適
- ⑤V oneSoft V oneSYSTEM



# oneSoft

- ①iOS/Android/MacでもWindowsLiveメールだけやWin版基幹業務だけをリモート
- ②手元端末の環境を変えずに、別環境にあるソフトウェアだけのリモート操作が可能
- ③手元WinPCが64bitでも今までの32bit専用の基幹業務ソフトが全く問題なく動作



- ①簡単接続アプリで利用するクラウドの基幹業務システム
- ②iPadでも、閲覧だけでなく編集など、全ての操作が可能
- ③各種管理は常に更新され、追加費用無しで全て利用可能  
(・売上・仕入・受注・発注・情報共有・在庫・勤怠・財務…)
- ④ウェブブラウザと同じタブ形式で、簡単に画面を追加表示可能
- ⑤ご利用は1ライセンスから可能で、初期費用は¥0
- ⑥システムを同時に二つ開くことで「ながら」利用が可能
- ⑦最新のAccess2016 (各PCへのインストールは不要です)
- ⑧oneSoftのエクスプローラーでデータのダウンロードが可能
- ⑨データが消えることもシステムが止まることもありません
- ⑩各端末PCへプログラムのインストール不要 サーバー購入不要

## <サーバー>タイプ

- ①「バックアップ」はもう不要
- ②「サーバー機の買い替え」はもう不要
- ③今あるサーバーをそのまま変換した「仮想マシン」をクラウド利用するのがおススメ
- ④古いサーバーも「仮想マシン」に変換して継続利用可
- ⑤V1oneFolder V1oneServer

# サーバー貸そろうか

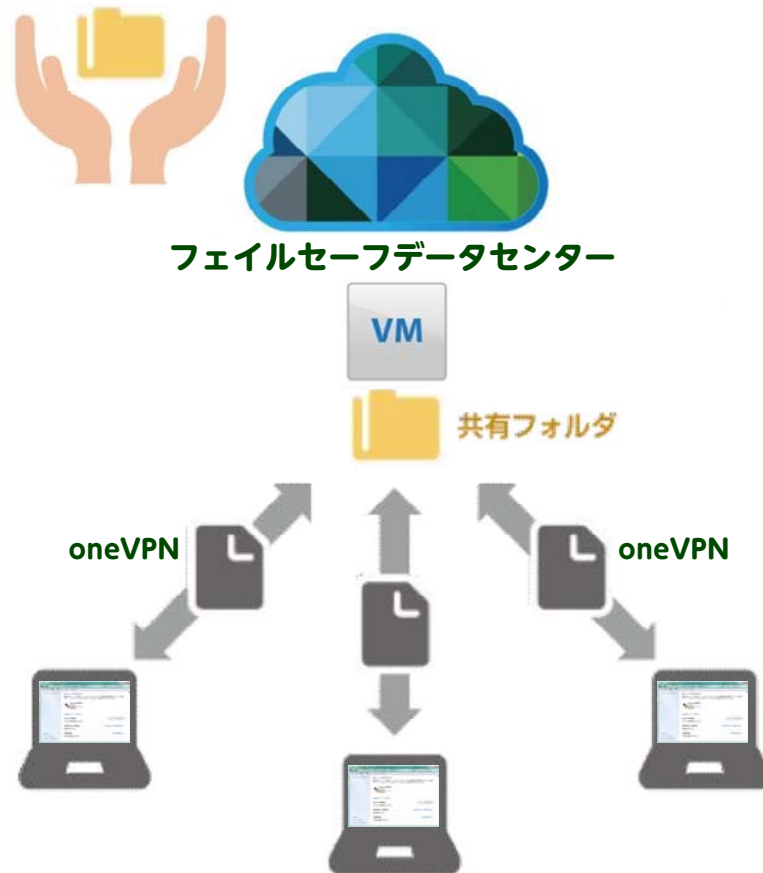
仮 想 化





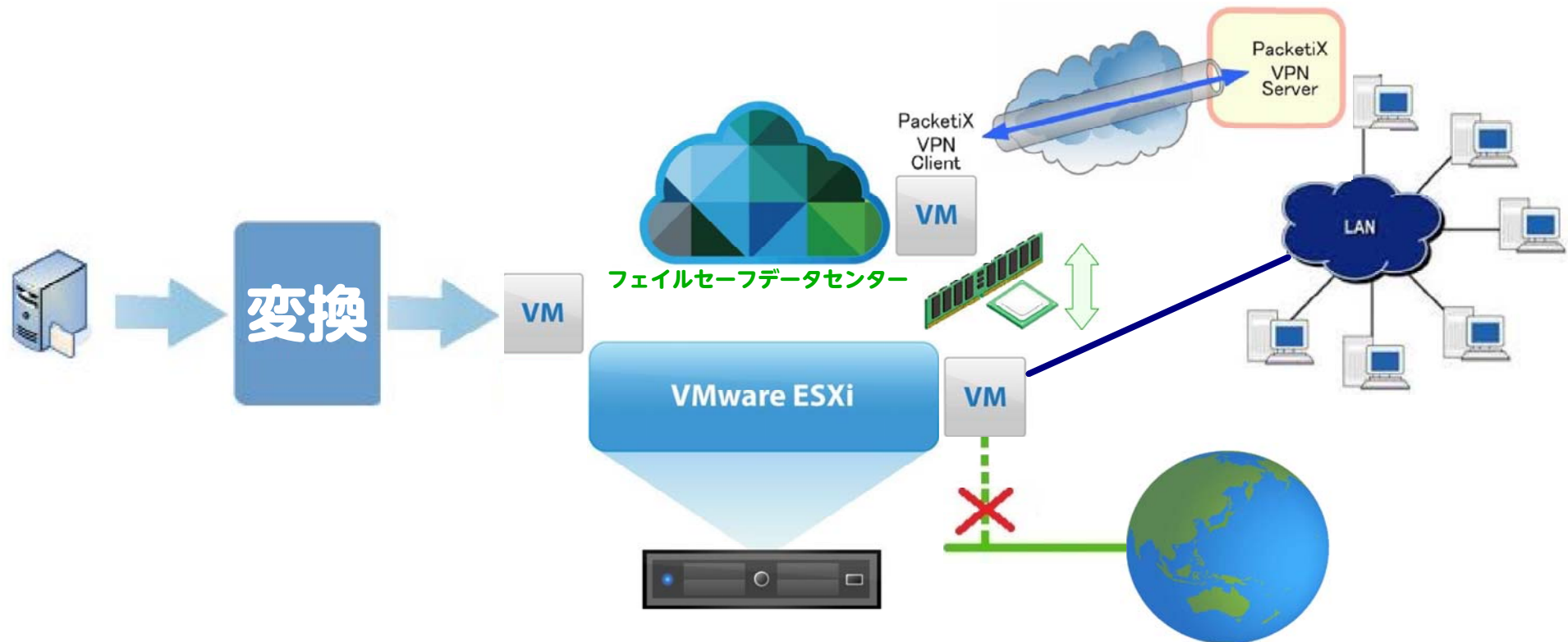
# oneFolder

- ①データが絶対に消えない共有フォルダ
- ②当社クラウドはバックアップ不要
- ③使い勝手は今まで通りのフォルダ形式で何も変わらず (oneVPN 自動認証)
- ④共有フォルダをリーズナブルに
- ⑤フォルダ権限設定可能 (Active Directory不要)



# oneServer

- ①クラウドならサーバー実機（ファイル/SQL）の 購入/設定/管理 が一切不要で楽々
- ②サポート切れサーバーをカプセル化して継続利用 → 最新OSへの移行費用が不要
- ③利用状況に応じてスペックを上げ下げすることで適正料金での安定稼働を実現



# oneSERIESの弱点

- ①モバイル利用時には安定したネット回線が必要です 新幹線を利用する際には「車内インターネット接続サービス」で接続することをおススメ致します（事前に回線業者との契約が必要です）  
※ネットが途切れたとしても向こう側では正常に稼働していますからデータに悪影響は全くありません
- ②WAN経由（クラウド運用全般、社内運用での支店、社内運用での外出時）接続の場合、以下のような問題があります
  - ・動画をご覧になる際に音ズレが生じる場合があります（YouTube等）※手元端末がMacの場合、音ズレは生じません
  - ・大容量データを手元端末からリモート先へ移動/コピーする場合に時間が掛かります
  - ・3DのCADソフトを使用する際にスムーズな動きが表現されないことがあります※社内運用の社内では上記のような問題はほとんどありません
- ③ソフトウェアだけをリモート操作する「oneSoft」の場合、別途、専用の言語バーが画面上に表示されてしまいます
- ④フォルダーだけをクラウドから利用する「oneFolder」の場合、ファイルの起動時や終了時に待ち時間が発生します
- ⑤当社クラウドを経由する「oneVPN to LAN」で、十分なネットスピードが確保できない場合には「oneServer」や「oneFolder」がスムーズに利用できないことがあります
- ⑥プランの種類や組み合わせが多岐に渡る為、サービス内容がわかりにくいことがあります（8プラン×2運用×ルーター設定可否）（複数プラン併用）

# oneSERIESの神髄

- ①Windows環境で普段仕事をしているアナタ タブレットやスマホでもいつものWindows環境で仕事しなきゃダメ！
- ②例えばMacの美しさに惹かれてしまうと、端末がどうしても気になるあなたには、端末が気にならないサービスが必要  
気に入ったその端末の最廉価版で良いのだからさっさと購入しなさい 引っ越しに手間が掛からないのだから頻繁に買替OK
- ③あなたのパソコン実機をそのままデータセンターに置いてリモート利用することだって実は可能  
でもそれでは、体積で賃料を計算するデータセンターでは高価になるので、実態をなくした仮想パソコンで賃料を抑えます
- ④サーバー業者に騙されないで欲しい もうサーバーは購入しなくて良いのです
- ⑤大切なその情報、パソコンやサーバーの中に入れたのだから、今頃もっと便利になっても良いはずなのに  
紙の時のように簡単に持ち運べなくなってしまって、逆に不便になってはいませんか???
- ⑥Office (エクセルとか) も一太郎もATOKもPDFにするソフトも  
何もかも全て既にインストールされているプランもあります
- ⑦お金と同じくらいパソコンもきっと大事 お金を預けるようにパソコンも預けて欲しい  
利息はありませんが、消えない止まらないを保証します
- ⑧あなたのパソコンのこと、陰ながら心配しています… だって壊れたら元に戻すの大変でしょう  
例え壊れてもリカバリタイム0

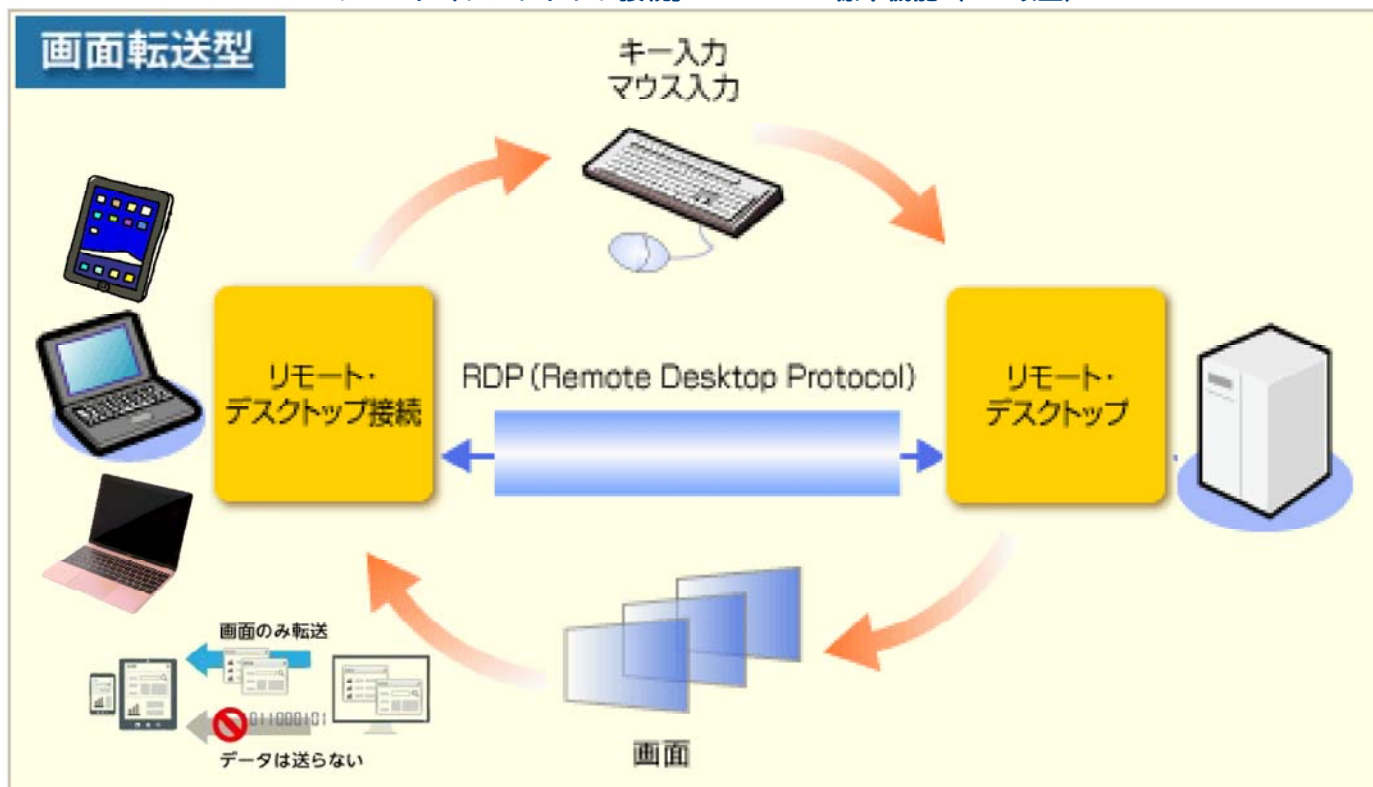
- ①一般販売 2011年4月 ~
- ②基礎開発 2005年7月 ~ 2011年3月 67ヶ月
- ③30社 200ユーザー (1 ~ 40ユーザー)
- ④70仮想マシン 9ハイパーバイザ 2物理マルチ
- ⑤クラウド：社内 → 8：2 (クラウド増加傾向続く)
- ⑥onePC シングル：マルチ → 5：5
- ⑦クラウド マルチ：マルチSHARE → 2：8
- ⑧業種傾向特に無し



# リモートとは？

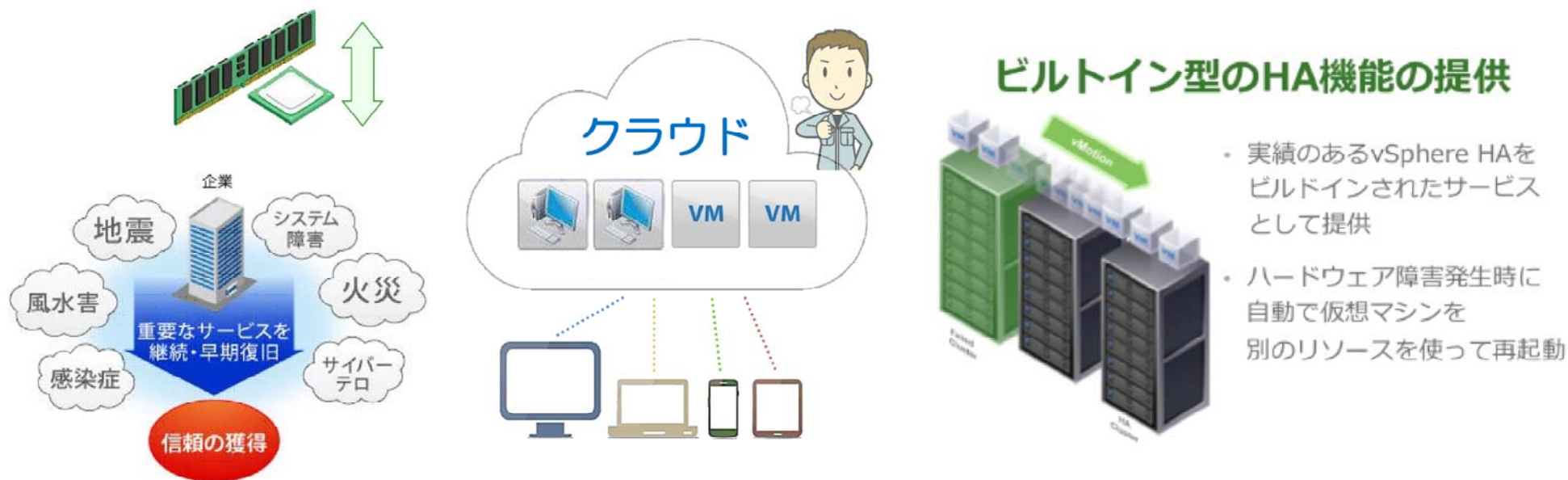
- ①WindowsPCを遠隔操作 手元端末は自由 (iPad/iPhone/Mac/Android/WinPC)
- ②手元端末には一切データが残らないから、手元端末が壊れても/盗まれても安心
- ③今あるWinPCと変わらない快適さで遠隔 (会社/DC) のWinPCの画面が動きます

リモート「デスクトップ接続」 Microsoft標準機能 (Pro以上)



# クラウドとは？

- ①面倒で高価な仮想化をお任せ
- ②WinPC/サーバーを所有せず最適価格で月額利用
- ③「仮想化の機能や運用」常時最新最良を保証（社内運用で実現するには反対に高価）
- ④有益なITサービス（恵みの雨）を巨大なインターネット（雲）から管理不要で簡単に享受可能



## データセンターからのサービス提供をなぜ「クラウド」と呼ぶのか???

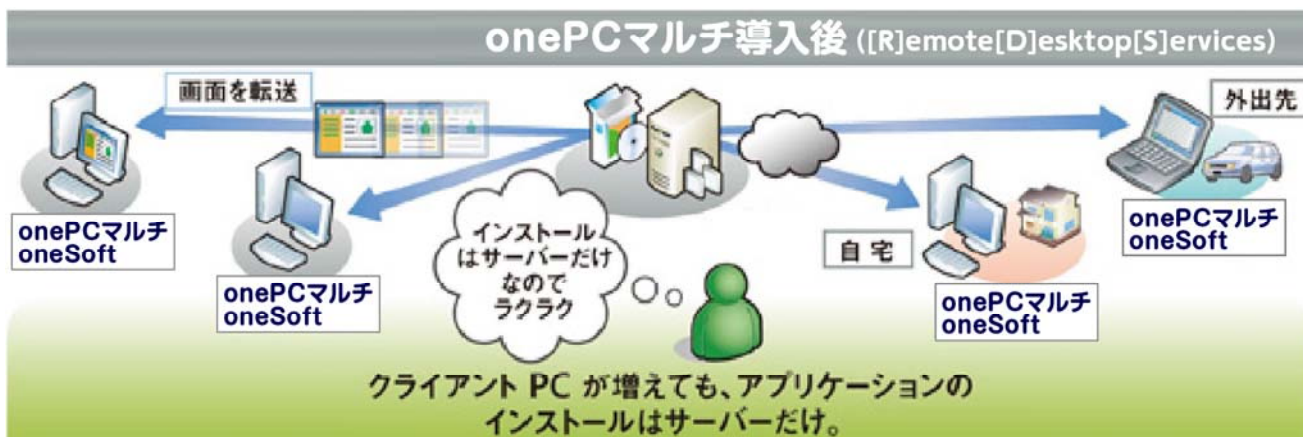
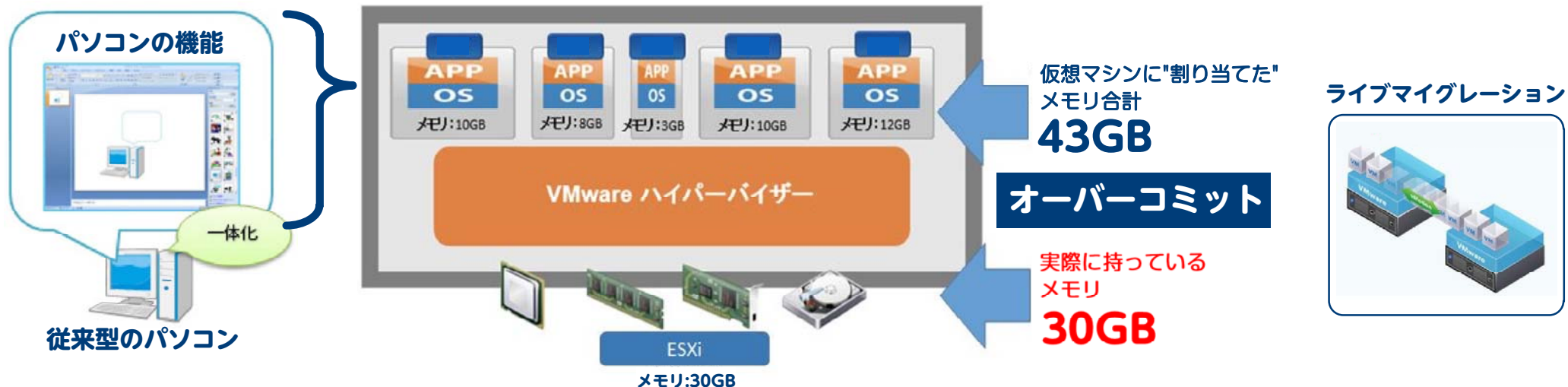
「クラウド・コンピューティング」という言葉自体は2006年8月、グーグルの最高経営責任者のエリック・シュミット氏が米・カリフォルニアで開かれた「検索エンジン戦略会議」の中で

「ブラウザの種類も、アクセス手段も、パソコンかマックか、携帯電話かも無関係です。  
“雲(クラウド)”のような、巨大なインターネットにアクセスすれば、その利益、恵みの雨を受けられる時代になっています」

という発言を受けて生まれた。

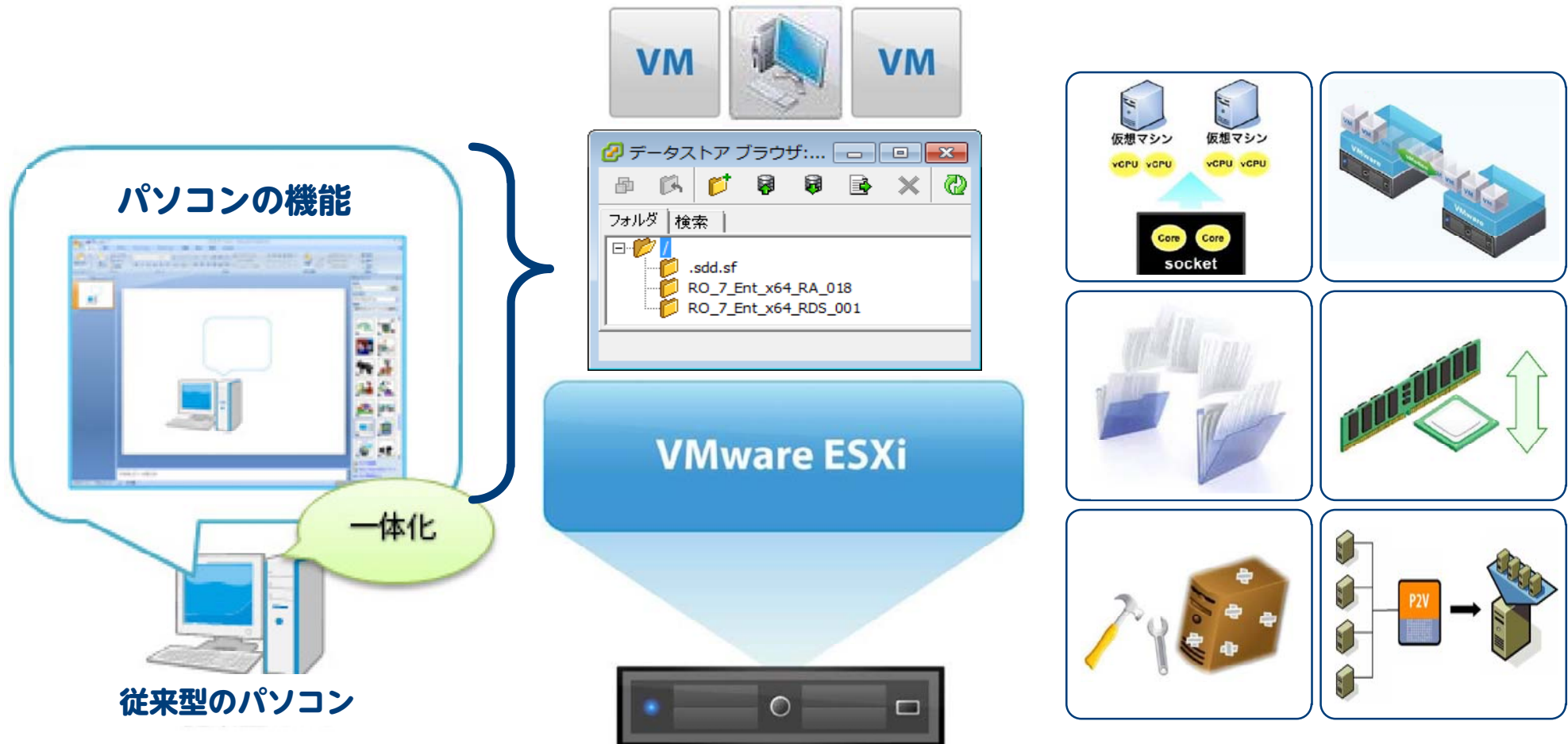
# 仮想化とは？

- ①今あるWinPCやサーバーを専用環境で多数共存稼働させて「省エネ化」
- ②WinPCやサーバーの常時クローン作成をしておいて、機械故障時に自動すり替わり
- ③WinPCやサーバーが消えない止まらない ④一度のインストールでソフトが同時利用



# 仮想マシンとは？

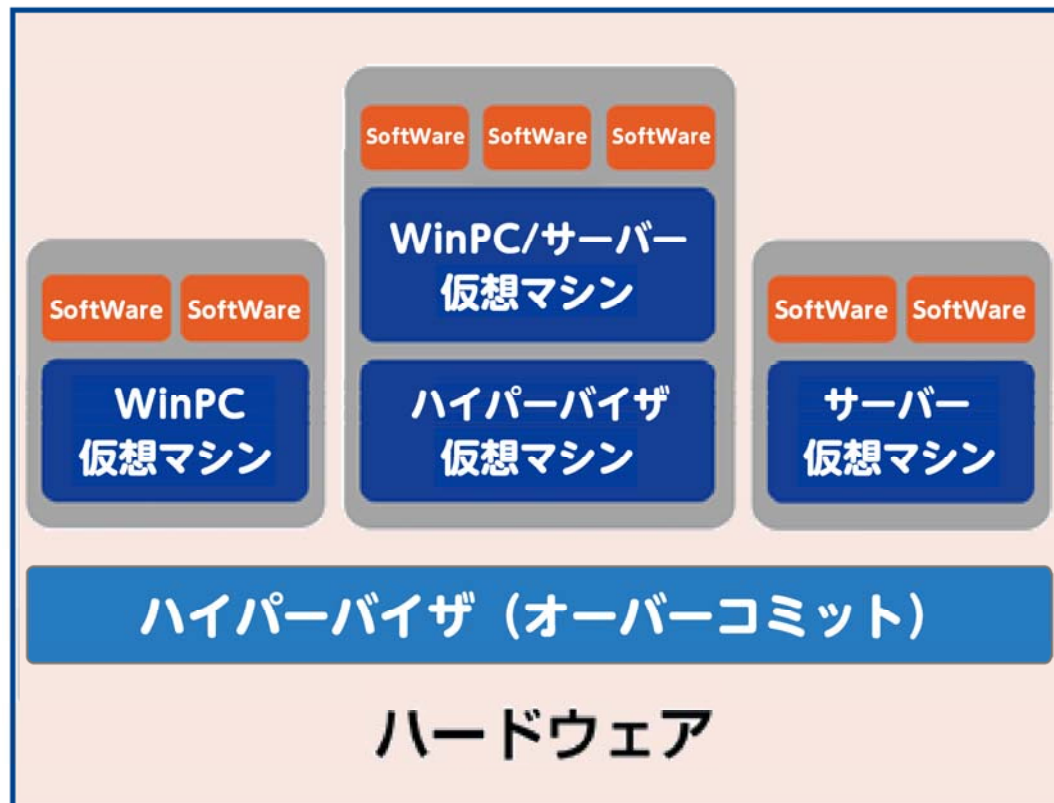
- ①専用環境で稼働する「ソフトウェア」的なWinPCやサーバー
- ②実態はフォルダ
- ③オーバーコミット/ライブマイグレーション
- ④今あるWinPCやサーバーを変換も
- ⑤PCやサーバーの i コピー ii 移動 iii スペック変更 iv OS古いまま安全継続利用 が簡単





# ハイパーバイザとは？

- ①仮想マシンを多数共存稼働させて仮想化機能を実現/運用するための専用「OS」
- ②HV(ハイパーバイザ)上の仮想マシンは今あるWinPCやサーバーよりも優れたパフォーマンス
- ③ほとんどの作業をGUIで実施可能でコマンドを打つ必要がない (vSphere ESXi)



◆VMware → vSphere ESXi

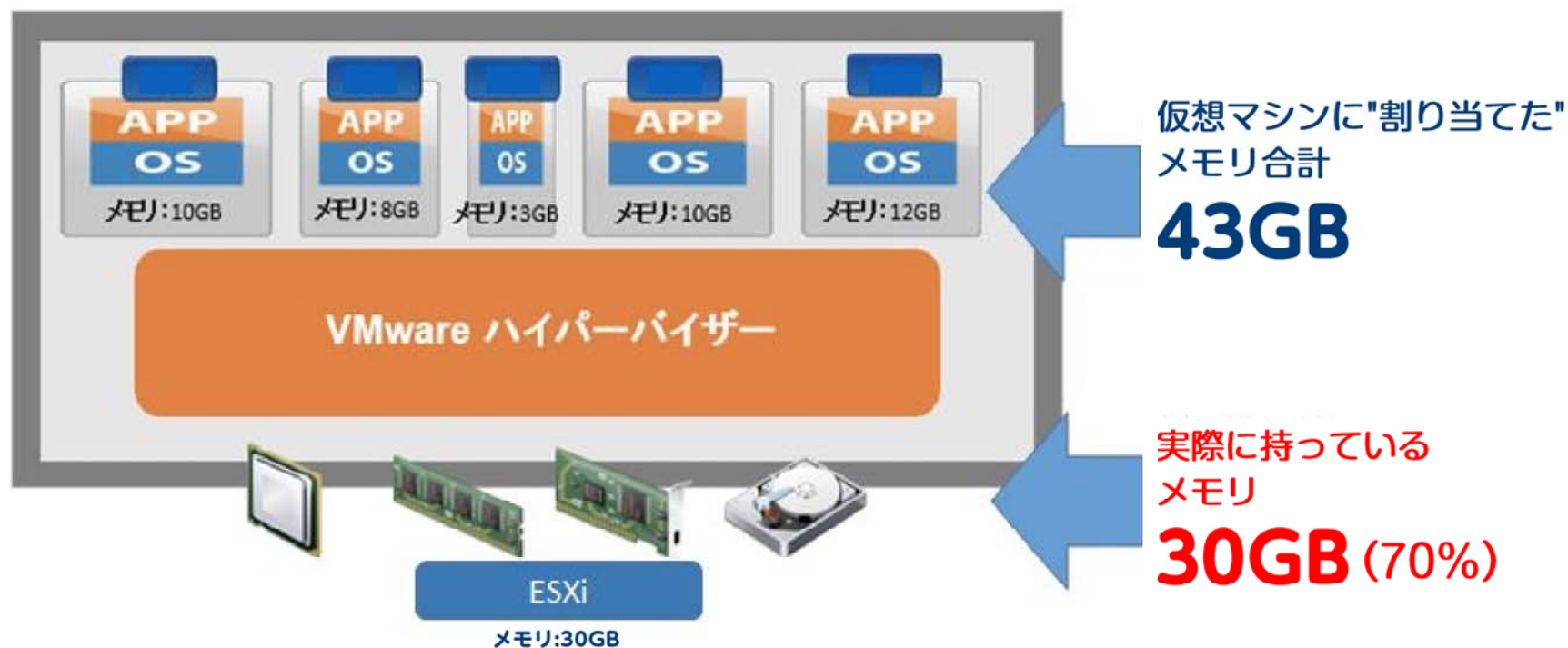
◆Citrix → Xen

◆Microsoft → Hyper-V



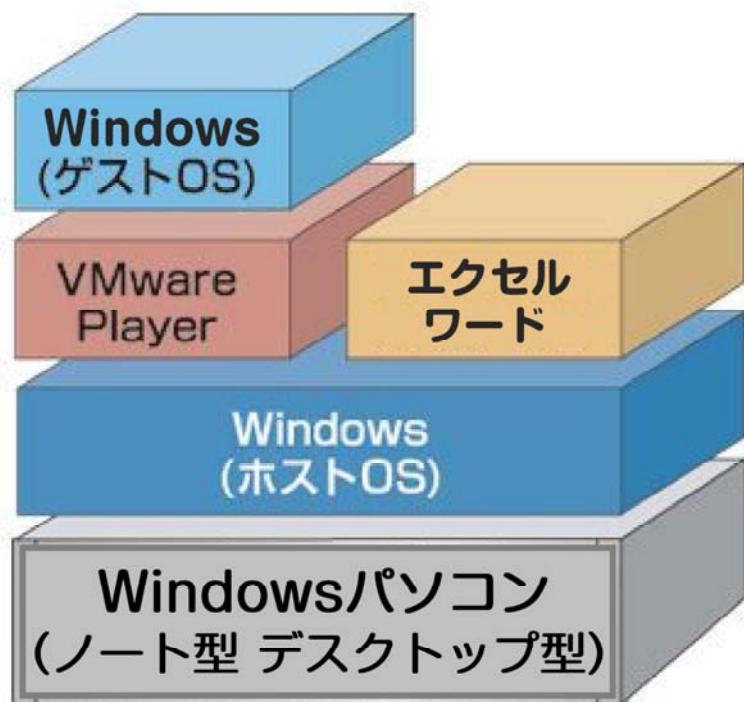
# オーバーコミットとは？

- ① 共存稼働している仮想マシン同士でCPUやメモリを一部融通し合い省エネ低コスト
- ② 例) 実際メモリ30GBの場合でもメモリ合計43GBの仮想マシン群を安定稼働可能
- ③ 当社クラウド計算式 → 例) (メモリ「実際」量 × 単価) = メモリ月額料金



# ホストOS型仮想化ソフトとは？

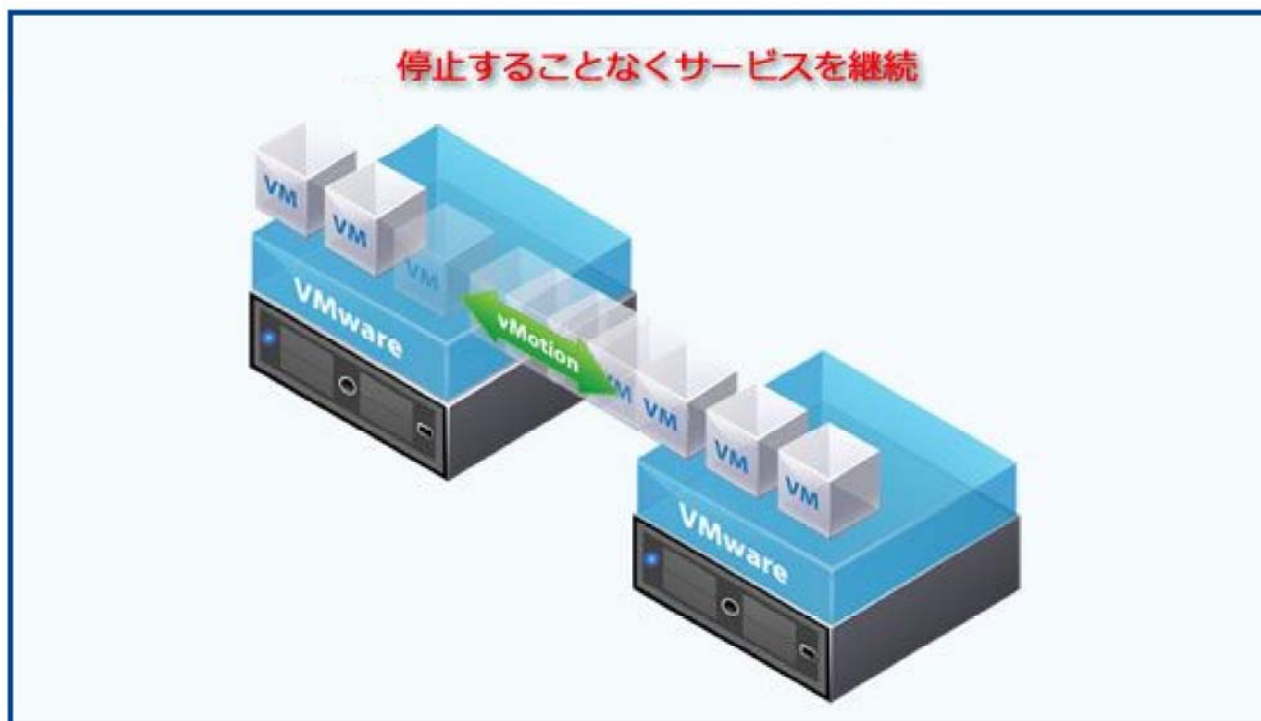
- ①WindowsPCにインストールするだけで簡単に、別環境のコンピューターが稼働
- ②クラウドで稼働させていた仮想マシンを自分のWinPCで稼働させることが可能
- ③複数の種類のコンピューターを稼働させることも可能



◆VMware → Player

# ライブマイグレーションとは？

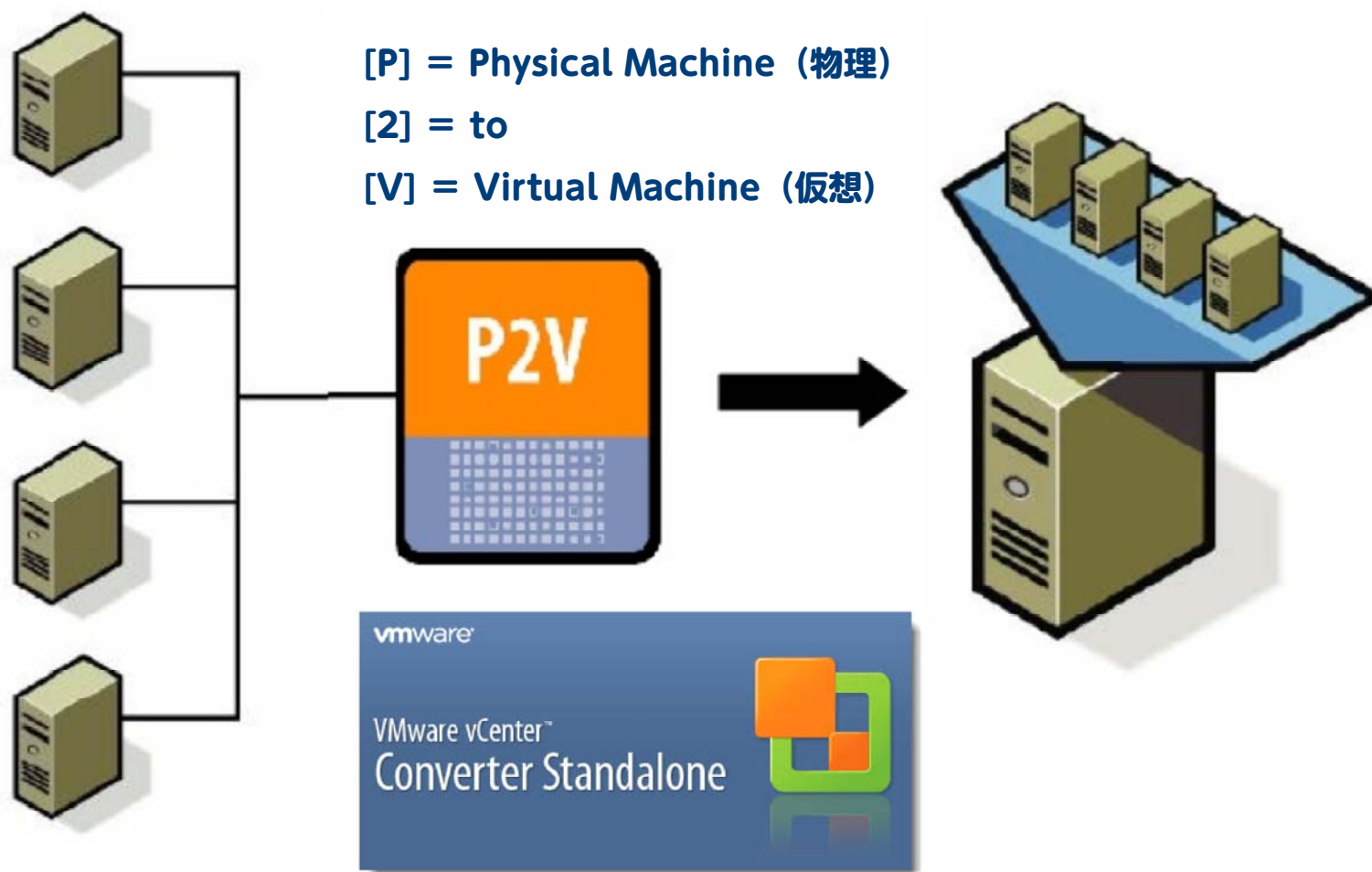
- ①仮想マシンのWinPCやサーバーを、停めることなく別のハードウェアへ移動します
- ②ハードウェアの i メンテナンス時 ii リプレイス時 iii 故障時 にもダウンタイム0
- ③WinPCやサーバーを「ソフトウェア」的「仮想マシン」として稼働させるから可能



- ◆VMware vMotion
  - メンテナンス時に手動でクローンを作成
- ◆VMware High Availability(HA)
  - トラブル時にクローン（随時作成）に一旦停止しながら自動的に入れ替わる
- ◆VMware Fault Tolerance(FT)
  - トラブル時にクローン（随時作成）に停止することなく自動的に入れ替わる

# P2Vマイグレーションとは？

- ①今あるWinPCやサーバーをそっくりそのまま仮想マシンに変換して専用環境へ移行
- ②HV(ハイパーバイサ)へ「引っ越し」する際に「忘れ物」も「キズが付く」ことも無く安心安全
- ③たった一晩でそのPCやそのサーバーをクラウドで稼働させることも可能





# [R]emote[D]esktop[S]ervicesとは？

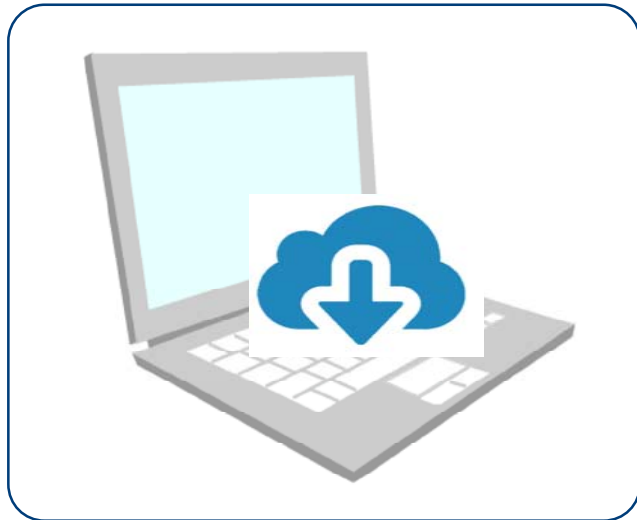
- ①マルチユーザー機能 + 複数人同時リモートデスクトップで一台で100人もOK
- ②ライセンスは紳士協定だからリーズナブル導入 ③ソフトインストールは1回のみ
- ④2000年からWindowsサーバー標準 ⑤定型作業を大人数で作業する時に非常に有効





# リモートアプリとは？

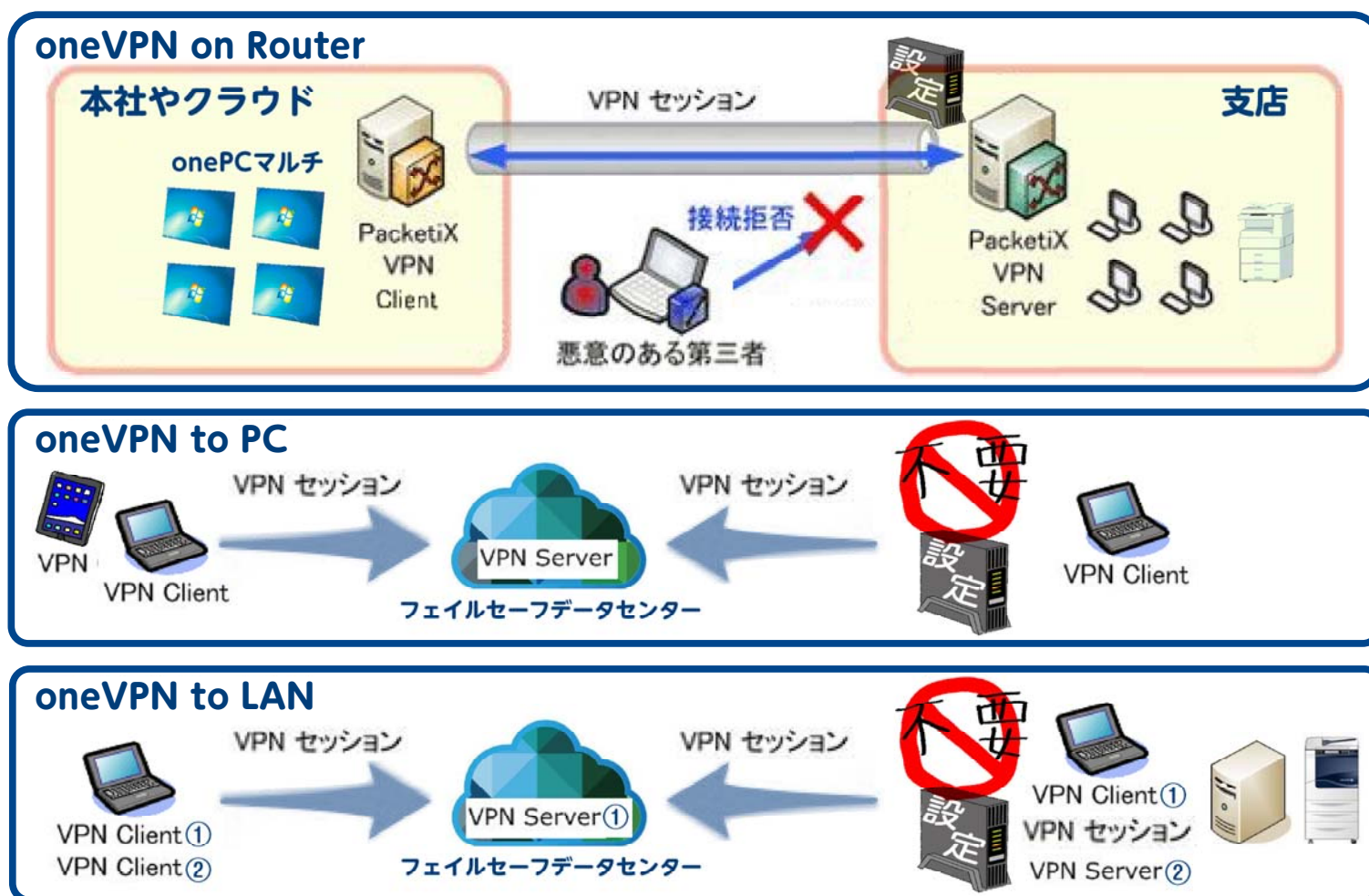
- ①WinPCは 中/USBメモリ どちらにもインストール可能
- ②接続履歴すら残さず安全
- ③WinPCからはPINコードで接続（自社アプリ）
- ④USBを鍵に
- ⑤Macは他社アプリ
- ⑥iPad/iPhone/Androidからは2タップするだけで即座に接続（他社アプリ使用）



# oneVPNとは？

- ①PCやサーバーに「専用ソフトをインストール」して安全に二拠点をLAN接続
- ②月額費用0円（⇔専用ルーターを設置する他社サービスは必ず月額費用が発生）
- ③ルーター設定不可でも、当社クラウドを経由することで安全に二拠点を接続可能

月額  
0円



# IT管理/IT業務がラクラク iPad/iPhoneでどこでもパソコン操作 MacでパソコンOK

大きな特徴 ⇒		・データが消えない・止まらない・ホテル	クラウドよりリーズナブル・一軒家	
場所 ⇒		↓クラウド（データセンター）↓	↓社内（サーバー/パソコン）↓	
パソコンの中身	単独型	・シングル	・動画も大容量データもOK・一世帯	
		・パーソナル性・個人・そのままを丸々・ソフトインストール自由・どこでもパソコン		
	共有型	自社単独	ダブル / ツイン	二世帯
		・定型作業・社員		
		他社共有	Office 2010 Pro・一太郎 ・体験版・ユースホステル	・民泊
自席型	・ソフトインストールは一回・デスクトップは自分専用・どこでもパソコン・歯ブラシは専用			
		サービス提供無し	・どこでもパソコン・即時導入・キャンカー	
ファイルサーバーの中身		・実機不要・買替不要・設置不要	「パソコンの中身」と併用が望ましい	
		中身は古いままでもOK		
共有フォルダのみ	他社共有	自社単独よりリーズナブル	サービス提供無し	
	自社単独	今までのショートカットを流用可		
	「みんな」で共有できる「Googleドライブ」風			
ファイル転送		「宅ふぁいる便」よりカンタン		
ソフトウェアのみ		・「あのWindowsソフト」だけをiPad/iPhoneで・基幹業務システムだけをiPad/iPhoneで ・IE10とIE11の共存・32bitと64bitの共存		
RemoteOneオリジナル 基幹業務システム		<ul style="list-style-type: none"> <li>・インストール不要・サーバー不要</li> <li>・タブ形式・二画面構成・カスタマイズOK</li> <li>・Google風検索機能</li> <li>・iPad/iPhoneでもOK・以下標準装備</li> <li>売上/受注/仕入/発注/在庫/履歴/見積/請求/顧客/商品/情報共有/勤怠/出納/月次/期別統計</li> </ul>	サービス提供無し	

# oneSERIES 価格表 (税別)

Iパソコン → onePCシングル IIパソコンマルチ → onePCマルチ IIIパソコンマルチ他社共有 → onePCマルチSHARE IV自席PC/他席PC → oneRemote  
 Vソフトウェア → oneSoft VIシステム → oneSYSTEM VIIフォルダ → oneFolder VIIIサーバー → oneServer

oneSERIES	リモートアプリで安全便利にログオン (WinPC/iOS) iPadでWindows モバイルワーク/在宅ワーク WinPC持出回避 RDP8で高速描写 端末自由で基幹業務 端末にデータ残らず BYOD 印刷物削減						
	クラウド (フェイルセーフデータセンター)		社内 (クラウド導入前社内検証)				
	完全無停止 ダウンタイム0 データ保全 バックアップ不要 サーバー購入/設置/管理 不要 BCP/災害 対策		故障時ダウンタイム有り クラウド導入前社内検証としての役割 バックアップはオプション				
	onePCマルチ → 一度のインストールだけでソフトウェアが皆で利用可能 onePCシングル → 環境不変で接続不要		一元管理 端末入替容易 高速共有フォルダ 即日導入可能 安全なoneVPNで社外から接続				
他社共有 (SHARE) 他社と共有するマシンにログオン/接続 クラウドを安価に手軽に利用 共有フォルダのみでも		自社単独 他社と共有しない専有マシンにログオン/接続 シングルでもマルチでも		社内ESXi / マルチ化社内PC 社内専用マシンにログオン/接続 ESXi機貸出有り 社内運用の特別事情		自席/他席 WinPC 社内指定WinPCへリモートアクセス VNCと比べて圧倒的に高速なリモート接続	

月額 ライセンス料 <small>(社内指定WinPCは年額) (ネットワーク保守は別途)</small>	II III V	I II V VII	I II V VII	IV
	1ユーザーあたり 2,000円	CPU 1コア 900円 メモリ 1GBあたり 1,024円 SSD/HDD 1GB 15円/7円	1ユーザー 1WinPCあたり 1,500円 1サーバー	年額 ライセンス料 1WinPCあたり 10,000円
	oneFolder 1ユーザーあたり 300円 (クラウドの場合は別途クラウド利用料が加算されます)			

設定費	各WinPC環境	onePCマルチ	合計 1ユーザーあたり 80,000円		-
		onePCシングル	ユーザー作成 20,000円 データ移行 60,000円 (デスクトップ上・マイドキュメント内・メール等) (oneSoft:不要)	合計 1WinPCあたり 80,000円 (クラウド選択時は90,000円)	
	ホスト 自席/他席 WinPC				1WinPCあたり 10,000円
	oneVPN (ライセンス料込)	サーバー版 1拠点あたり 10,000円 (各拠点内の常時電源オンWinPC等にサーバー版インストール) クライアント版 2接続まで 1接続あたり 5,000円 (各VMICにクライアント版インストール) (その他設定含む) 3接続以上 1接続あたり 15,000円			クライアント版 1WinPCあたり 5,000円 (被接続PCと接続PCにインストール)
	ルーターポート転送	→ 1拠点あたり 15,000円 1設定 5,000円		←	←
	インストール	onePCマルチ 1回あたり 10,000円 (プリンタドライバやソフトウェアなど)	onePCシングル	お客様自身で作業可能	
	サーバー(ファイル/SQL)		1サーバーあたり 120,000円		
	接続端末	iOS/Androidの端末 1,000円 WinPC 1接続あたり 0円 (インストールしたりリモートアプリで接続するので設定不要) AppleMac 1,000円			←
	共有フォルダ	新設 / 移設 1フォルダあたり 20,000円			
	購入費	リモートアプリ	iOS/Android用 1台あたり 1,000円 (無料アプリもあり) WinPC用 1接続 4,000円		
ソフトウェア		基本的に不要	OS Office onePCマルチ 2ライセンス 時価 (サーバー含む) onePCシングル 1ライセンス 時価	マシン台数分 時価 (必要な場合有り)	OS: Pro以上が必要な場合有り 時価
機器				例) 80万円 → 50ユーザー / 20WinPC 4TB	

オプション	基本 設定費	不要	1フォルダあたり	20,000円	共有フォルダ等を社内設置機器に上書保存
	月額 ライセンス料		2,500円 / 月	任意周期で自動上書保存 稼働状況レポート提出/月	
	復旧 作業費		1時間あたり 10,000円 / h	完全復旧: 100GBおおよそ4h 緊急時: 1フォルダ作成おおよそ2h	

■月額ライセンス料 ・WindowsUpdate 各種ソフトウェアアップデート ・ウィルス対策 (社内指定WinPCは除く) ・oneSoftは8掛 ・セッション数無制限 はご相談  
 ■初期費用 ・WindowsUpdate ・メールのGmail移行 (社内指定PCは除く) ・MSEへ変更する場合有り  
 ■オプション ・RealSyncを使用 ・復旧できない場合があります ・設定周期内なら直前状態のフォルダを確認することも可能 ・マシンバックアップは不可 ・クラウドマシンへのバックアップはご相談 ・Windows標準バックアップ機能はご相談  
 ※導入後のお問い合わせはメール対応 ※基本的に、訪問ではなくTeamViewer接続で遠隔対応 ※ネットワークトラブルには「XEROX ITあんしんサービスバックリ」がおすすめ (1ユーザーあたり月額1,000円前後)